

予算計上の主なもの



# 平成30年度 重点政策



その先の、道へ。北海道  
Hokkaido. Expanding Horizons.

1869  
(命名)

1968  
(100年)

2018  
(150年)

2068  
(200年)

## 北海道未来創生予算

### 基本的な考え方

- I. 道政上の最重要課題である「人口減少・危機突破」に向け、これまで築いてきた官民の推進体制や基盤となる拠点・機能を最大限活用しながら、地域創生の成果を確かなものとし、持続可能な社会づくりに向け、未来への投資を進める。
- II. 北海道命名150年の節目に、本道の価値と未来への展望を改めて道民と共有し、「輝きつづける北海道」の実現に向け、未来を担う多様な人づくりを進める。
- III. 「世界の中の北海道」としての視点を常に持ちながら、新たな国際環境に的確に対応するとともに、世界に向けて果敢に挑戦する環境づくりを進める。

**「人口減少・危機突破」に向け、地域創生の成果を確かなものにし、未来への投資を推進**

### 地域創生の推進

北海道150年事業の展開

アイヌ文化の発信等強化

暮らしを守る地域医療の確保  
と健康づくりの推進

働き方改革の着実な推進

本道の強みを活かした  
新しい成長産業の創出

誰もが心豊かに暮らし  
共に発展できる社会の構築

暮らしと経済を支える  
交通・物流ネットワークの構築

経済と雇用を支える  
地域産業力の向上

地域課題の解決  
に向けた取組の推進

「まさか」への備えと  
強靱でやさしい地域づくり

### 未来を担う 多様な人づくり

### 世界を見据えた 果敢な挑戦

新たな道を切り拓く人財の育成

海外との地域間交流等の拡大

多様な人材の活躍促進と呼び込みの強化

新たな国際環境等に対応した  
強い農林水産業の確立

スポーツを通じた人づくり・地域づくりの推進

インバウンドの加速化と「稼ぐ観光」の促進

子どもの確かな成長を支える環境づくり

ライフステージに応じた少子化対策の推進

食の輸出拡大戦略の推進



# 重点的に取り組む施策の概要 – 北海道未来創生予算 –

## 北海道150年事業の展開

### ■ 施策の展開方向

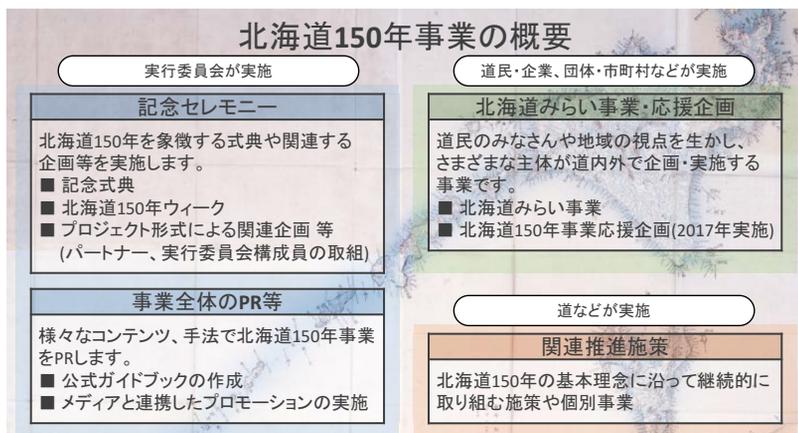
北海道命名150年の節目に、先人が積み重ねてきた偉業や歴史を振り返り、次代につなぐとともに、新しい北海道の創造に向け、本道の未来を担う人づくりや世界に向けた“Hokkaido”の魅力発信を進めます。

### ■ 平成30年度に実施する主な新規・拡充事業等

### ■ 新たな取組

- 北海道150年を祝う記念セレモニーを開催
- 世界的に著名な研究者による講演会を開催
- 姉妹友好提携地域が集う会合を開催
- 三重県・佐賀県との子ども交流を実施

事業名	概要	予算額 (千円)
○北海道150年事業費 【総合政策部】	北海道命名150年の節目を祝い、式典などの記念セレモニーを開催するほか、本道の未来を担う子どもたちに学ぶ楽しさを伝えるためのイベント、ゆかりのある三重県・佐賀県との子ども交流などを実施する。	来 268,008 ②( 19,505)
◎サイエンスフェスティバル 開催経費負担金 【総合政策部】	若者をはじめ道民のチャレンジャー精神を呼び起こし、世界を舞台に活躍する人材を育成・輩出するため、マサチューセッツ工科大学(MIT)教授を招へいし、聴衆参加型の講演会を実施する。	来 26,905 ②( 0)
◎北海道姉妹友好提携地域 ラウンドテーブル2018開催 事業費 【総合政策部】	姉妹友好提携地域との親交を深め、効果的な北海道情報の発信など今後の国際戦略の推進につなげるため、各地域の代表らが集うラウンドテーブルミーティングを開催し、今後の発展ビジョン等について議論する。	来 25,477 ②( 0)
赤れんが庁舎改修事業費 【総務部】	赤れんが庁舎を適切に保存するとともに、歴史文化・観光情報の発信拠点として利活用を図り、北海道観光の呼び水とするため、改修に向けた実施設計や有効活用に向けた指針の策定を行う。	②( 87,835 23,920)



## アイヌ文化の発信等強化

### ■ 施策の展開方向

2020年4月の民族共生象徴空間の開設に向け、アイヌ文化の発信や地域連携体制の強化、交通アクセスの改善、周辺環境整備などに取り組み、道内外の機運醸成や誘客促進、受入環境の整備を図ります。

また、これらの取組と並行して、アイヌ文化の保存や伝承に向けた取組を進めます。

### ■ 平成30年度に実施する主な新規・拡充事業等

事業名	概要	予算額 (千円)
○民族共生象徴空間誘客促進 ・地域連携事業費 【環境生活部・経済部】	民族共生象徴空間の開設に向け、道内外の機運醸成や誘客促進を図るため、国内プロモーションや道内の地域連携体制の検討、海外での道産品PRと連携したアイヌ文化の発信強化などを行う。	来・創 430,580 ②( 42,236)

(表記注釈)

◎：新規事業 ○：拡充事業 【 】：事業執行部局名 ②：平成29年度予算額

来：北海道未来創生事業 創：地方創生交付金の活用を予定する事業

戦：戦略産業雇用創造プロジェクト補助金の活用を予定する事業 ※：平成29年度計上事業で平成30年度執行事業



# 重点的に取り組む施策の概要 – 北海道未来創生予算 –

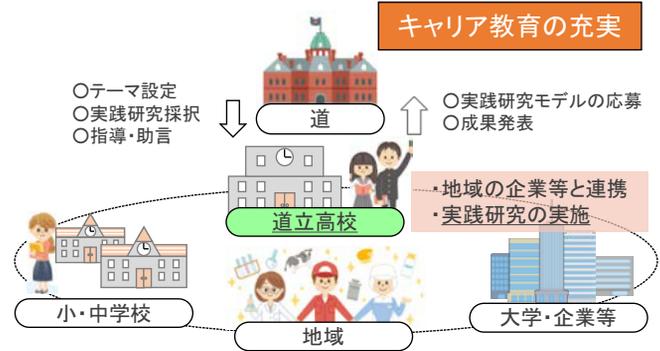
## 新たな道を切り拓く人財の育成

### ■ 施策の展開方向

地域創生の源であり、本道の未来を切り拓く人財の育成に向け、地域の関係機関や企業等と連携し、キャリア教育・産業教育の強化による基幹産業の担い手育成や若者の道内定着を促進するとともに、世界を舞台に活躍する人材の育成に向けた取組などを進めます。

### ■ 新たな取組

- 道立高校で企業等と連携した実践研究モデル事業を展開
- 道立高校生のインターンシップや体験学習を充実・強化
- 林業の担い手を育成する人材育成機関の設立準備を推進
- アメリカ・ハワイ州との高校生の交換留学を開始
- 学校法人等が行う耐震化に係る経費の一部を補助



### ■ 平成30年度に実施する主な新規・拡充事業等

事業名	概要	予算額（千円）
未来を担う若者の道内就業・活躍に向けた取組の推進	企業や大学、地域の関係機関等と連携し、道立高校生に対する産業教育やインターンシップ・体験学習などキャリア教育等の充実を図り、本道の基幹産業や地域を支える人材の育成、道内就業の促進を図る。	75,916
◎北海道ふるさと・みらい創生推進事業費 【教育庁】	若者の流出を食い止め、道内産業の担い手等を育成するため、道立高校において、企業や大学、地域等と連携した産業教育やインターンシップ等のキャリア教育の充実、外国人留学生との交流促進を図る。	来 30,882 ②( 0)
○北海道スマート農業推進事業費 【農政部】	農家戸数の減少や高齢化による担い手不足に対応するため、スマート農業技術を地域で活用できるよう、地域の人材育成等を図るとともに、将来を担う農業高校生向けの実践研修を新たに実施する。	来・創 13,352 ②( 14,543)
○青年新規就農者確保対策事業費 【農政部】	若者の就農意欲を喚起するとともに、地域における若者の就農促進に向けた取組を支援するため、高校生を対象とした農業の出前授業や農業法人見学会の開催、農業大学校と連携した取組などに取り組む。	9,417 ②( 5,221)
◎水産高校生漁業就業促進対策事業費 【水産林務部】	沿岸漁業への就業を促進するため、漁業研修所及び周辺漁家における就業体験や漁業者等による授業など、道内水産高校生が沿岸漁業に接する機会を創出する。	来 2,912 ②( 0)
○木育推進事業費 【水産林務部】	森林づくりへの理解促進などを図るため、森林・木材とふれあう機会の提供等に取り組む木育マイスターの育成、親子向けの木工教室、中高生等を対象とした林業等現場体験等に取り組む。	9,353 ②( 6,870)
建設業担い手対策推進事業費 【建設部】	建設産業の担い手確保・育成を図るため、建設産業ふれあい展やICT体験講習会、人材確保・育成に向けた研修会等を実施するとともに、建設業団体等が行う生産性向上等の事業経費の一部を補助する。	10,000 ②( 10,000)
◎林業大学校設立準備費 【水産林務部】	林業の担い手育成に必要となる人材育成機関の設立に向け、カリキュラムの検討や教員・講師の選定、外部機関との連携体制の構築、道内の高校等への開校周知など準備を進める。	4,327 ②( 0)
○高校生交換留学促進事業費 【教育庁】	本道の国際交流をリードするグローバル人材を育成するため、カナダ・アルバータ州に加え、新たにアメリカ・ハワイ州との高校生の交換留学を行う。	3,941 ②( 1,724)
○北海道未来人財応援事業費 【総合政策部】	本道の将来を担う人材の育成を図るため、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」等により支援する。	来 27,452 ②( 20,814)
◎私立学校施設耐震化支援事業費補助金 【総務部】	子どもたちが安全な環境下で学べるよう、私立学校施設の耐震化を進めるため、学校法人等が行う耐震化に係る経費の一部を補助する。	126,300 ②( 0)



# 重点的に取り組む施策の概要 – 北海道未来創生予算 –

## 多様な人材の活躍促進と呼び込みの強化

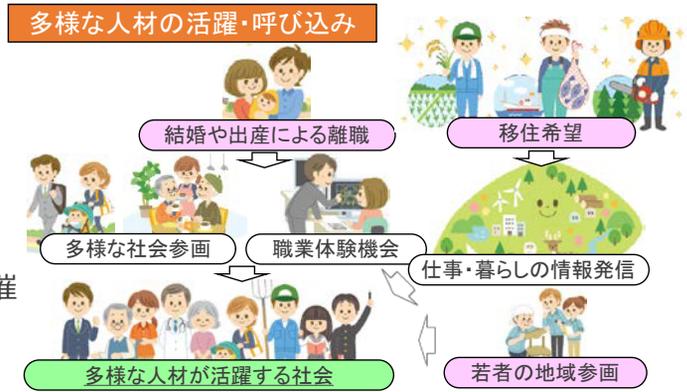
### ■ 施策の展開方向

女性や若者などの社会参画や就業の促進に向け、多様な社会参画方法の紹介や職業体験機会の提供を支援するとともに、多様な人材の移住定住に向け、ふるさと移住定住推進センターを活用した取組などを進めます。

### ■ 新たな取組

- 人手不足が深刻な地域で子育て女性の再就職を促進
- 女性の多様な社会参画の実例を見て学べるイベントを開催
- 若者が地域を学び関心や愛着を高める仕組みづくり

### ■ 平成30年度に実施する主な新規・拡充事業等



事業名	概要	予算額 (千円)
◎子育て女性再就職応援事業費 【経済部】	子育て女性の再就職を促進し、女性が活躍できる社会の実現を図るため、特に人手不足が深刻化している地域において、再就職への不安の解消やマッチング機会の創出などに取り組む。	来・創 4,579 ②⑨( 0)
◎北の女性活躍サポート事業費 【環境生活部】	女性の社会参画や男女平等意識の向上を図るため、おうちビジネスやコワーキングなど多様な社会参画の実例を学べるイベントや、意識改革に向けた講演会、トークセッション等を開催する。	来 6,956 ②⑨( 0)
◎若年者等地域人材誘致・交流促進事業費 【総合政策部】	道内外の若者が地域への関心や愛着を持つための実践活動プログラムを策定・普及するとともに、将来のUIターンや移住につなげるため、首都圏の若年層とのネットワークを構築し、移住関心層の掘り起こしを図る。	来 15,187 ②⑨( 0)
いなか暮らし応援プログラム推進事業費 【総合政策部】	移住・定住を促進するため、「ふるさと移住定住推進センター」を運営するとともに、市町村・企業の移住施策を促進する「官民連携加速プロジェクト」や地域の仕事を掘り起こす「ローカルコーディネーター」を配置する。	来・創 59,284 ②⑨( 59,284)

## スポーツを通じた人づくり・地域づくりの推進

### ■ 施策の展開方向

スポーツの振興による地域活性化に向け、スポーツコミッションの設立促進・連携強化に取り組むほか、国民体育大会冬季大会やラグビーワールドカップ2019、2020東京オリパラ聖火リレーの成功に向けた取組などを進めます。

### ■ 新たな取組

- スポーツコミッションの設立促進・連携強化の取組を展開
- 大会運営等を支援するスポーツプロボノ委員(仮称)を委嘱
- 2020東京オリパラ聖火リレーの成功に向けた取組を推進

### ■ 平成30年度に実施する主な新規・拡充事業等



事業名	概要	予算額 (千円)
◎地域スポーツコミッション推進事業費 【環境生活部】	スポーツ大会や合宿を誘致するため、地域の関係団体とのネットワークを構築しスポーツコミッションの設立促進・連携強化を図るほか、受入や大会運営を支援するスポーツプロボノ委員(仮称)を委嘱する。	来・創 5,476 ②⑨( 0)
◎2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会聖火リレー関連事業費 【環境生活部】	オリンピックムーブメントを推進するとともに2020東京オリパラ聖火リレーを成功させるため、北海道聖火リレー実行委員会を設置し、ルート選定やランナーの公募、沿道整備などについて検討する。	②⑨( 10,000 0)
スポーツ競技力向上推進費補助金 【環境生活部】	ジュニア選手等の育成強化を図るため、公益財団法人北海道体育協会が実施する選手強化事業等に対し補助する。	②⑨( 65,031 65,031)



# 重点的に取り組む施策の概要 – 北海道未来創生予算 –

## 子どもの確かな成長を支える環境づくり

### ■ 施策の展開方向

本道の将来を担う子どもたちが健やかに成長できる環境づくりに向け、学校や家庭、地域の関係機関等の連携・協働体制づくり、子どもの貧困対策やいじめ・児童虐待防止対策の推進、幼児教育・保育に携わる人材の確保や資質の向上、社会の変化に対応した学びの充実などの取組を進めます。

### ■ 新たな取組

- コミュニティ・スクールの導入促進と取組の充実に向け推進協議会を14管内で開催
- 地域における子どもの貧困対策の促進に向け振興局単位のネットワークを構築
- 保育士の専門性の向上や職場定着を図るための研修を実施



### ■ 平成30年度に実施する主な新規・拡充事業等

事業名	概要	予算額（千円）
◎コミュニティ・スクール推進体制構築事業費 【教育庁】	学校・家庭・地域の連携・協働体制の確立に向け、コミュニティ・スクールの導入促進と取組の充実を図るため、推進協議会の開催やコーディネーター養成研修の実施、アドバイザーの派遣などに取り組む。	6,946 ②( 0)
○子どもの貧困対策強化推進事業費 【保健福祉部・教育庁】	子どもたちが夢と希望を持って成長できるよう、振興局単位の支援ネットワークの構築、ひとり親家庭の就労支援、子どもの居場所づくりへの支援、スクールソーシャルワーカーの配置など、分野横断的な対策強化を図る。	1,093,466 ②( 842,253)
○いじめ等対策総合推進事業費 【教育庁】	いじめや不登校などの未然防止や早期発見・早期解決を図るため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用するとともに、SNSを活用した相談窓口を一定期間開設し、今後の在り方を検討する。	214,604 ②( 202,311)
◎保育士等キャリアアップ研修事業費 【保健福祉部】	保育士の専門性や保育の質の向上を図るとともに、キャリアパスの明確化による職場定着を図るため、保育現場におけるリーダー的職員の育成を目的とした研修を実施する。	10,963 ②( 0)

## ライフステージに応じた少子化対策の推進

### ■ 施策の展開方向

安心して子どもを生み育てることができる環境づくりに向け、一定の所得以下の世帯における保育料の負担軽減、結婚サポートセンターの運営、不妊治療・不育症治療に対する助成、市町村や企業等と連携した子育て支援の取組など、結婚、妊娠・出産、子育ての各ライフステージに応じた取組を進めます。

### ■ 新たな取組

- 企業等との連携強化を図る「未来子育て応援プロジェクト」を推進



### ■ 平成30年度に実施する主な新規・拡充事業等

事業名	概要	予算額（千円）
多子世帯の保育料軽減支援事業費 【保健福祉部】	多子世帯の経済的負担を軽減するため、一定の所得以下の世帯における第2子以降（3歳未満）の乳幼児に係る保育料を無償化する。	来 897,490 ②( 644,125)
地域少子化対策強化事業費 【保健福祉部】	子どもを生み育てやすい環境をつくるため、結婚サポートセンターの運営や次世代教育、妊婦への子育て情報の提供等のほか、新たに、乳幼児ふれあい体験事業の促進や未来子育て応援プロジェクトに取り組む。	来 113,993 ②( 199,718)
特定不妊治療費助成事業費 【保健福祉部】	妊娠・出産を希望する人を支援するため、特定不妊治療及び男性不妊治療に要する費用に対し助成するとともに、不妊治療の専門家や経験者等による相談（ピアサポート）・講演会等を実施する。	356,734 ②( 387,049)